

医療

65歳男性。今年初めからたんが切れず、会話中も不快で困ります。肺の検査では異常なし。処方されたたん止めや抗アレルギー薬は効きません。20代で喫煙を始め、30代以後に断続的に禁煙。中年以後は宴席で吸う程度で、今年になって禁煙中ですが、相変わらずです。(神奈川県・S)

Q たんは何のサインですか。

A 風邪などの感染症では黄や緑の膿んだたんが出ます。喫煙による刺激や、ぜんそくなどのアレルギーでは、からんで切れにくいたんが特徴的。血たんは肺がんを疑います。Sさんの場合、年齢や喫煙歴から慢性閉塞性肺疾患(COPD)の前兆と思われるます。

Q COPDとは。

A 気管支に炎症が起こり、肺の末端組織が壊れていく病気で、喫煙がリスクの90%以上を占

どうしました
どうしました



なかた けんいちろう
中田 紘一郎さん
中田クリニック院長
(呼吸器科)

|| 東京都千代田区

禁煙が必須 風邪の予防も

め、長引くせき、たん、動いたときの息切れが3大症状。国内で600万人以上が患うとされます。検査で異常がない0期から、酸素吸入しても動くのがつらい最重症の4期までに分かれます。

Q 男性に特有ですか。

A いいえ。発症まで数十年かかり、かつては男性喫煙者が多かったのが今は男性患者が多いので

す。今後は女性も増えるでしょう。喫煙開始が若いほど進行しやすいようです。

Q 治りますか。

A 壊れた肺は元には戻りませんが、発症や進行を遅らせることはできます。禁煙が必須です。程度の差はありますが、禁煙はいつ始めても効果が期待できます。遅すぎることはありません。

Q 具体的な治療は。

A Sさんの場合、あまり心配せず、禁煙を続け様子を見ましよう。たんには気管支拡張薬やマクロライド系の抗生物質を使うことも考えられます。ただ、インフルエンザの予防接種は毎年受けて下さい。COPDは肺が壊れて抵抗力も下がるので、肺炎など感染症が致命的になりかねません。私は肺炎球菌ワクチンの接種も勧めます。接種は自費ですが、補助する自治体が増えていきます。

Q 進行した場合は。

A 気管支拡張薬やステロイド吸入のほか、腹式で息をゆっくり吐く訓練もします。最重症では自宅で酸素吸入したり、睡眠時に鼻マスクの簡便な人工呼吸器を使ったりします。